

2021年1月の月一レターです。今年もよろしくお願いいたします。

再び緊急事態宣言下となりました。

コロナウィルス感染症は人から人に感染させる事が解っています。個人がすぐ出来る事として、3密を避け、マスクは正しく装着し、人にうつさない、うつらない行動をとりたいとおもいます。

みなわ会は現在、会報・「みなわ便り」の発行作業をしています。その投稿文の中から下記に、コロナ禍の日常生活において、身近に楽しみを見出して豊かに暮らしておられる方の文をご紹介します。

「コロナ禍対応中のなか」

正月は例年だと子供達や孫が我が家に集まり、宴会でしたが、本年は中止し、夫々で祝うことにしました。息子は、昨年禁煙をしており、体調も以前より快調になっておるとのことで、嬉しく思うと同時に安心している所です。

コロナ禍の小生の日常生活のひとつ。雀の様子について、すこし触れてみたいと思います。

朝、雨戸を開けると、庭の木々にとまっている雀が5～6羽、顔を一齐にこちらに向けて鳴き叫んでいます。餌のお米を挙げると待ってたとばかりに食べています。昼1時頃、雀たちはまた木々に群がり盛んにこちらに顔を向けて叫んでいます。暫く窓ガラス越しにみていると、ガラス戸の淵まで来て、盛んに数匹が行ったり来たり催促するので、餌を挙げます。そして、3時前後にまた餌を欲しがって雀がよってきます。この雀は先ほどまでの雀ではないようです。

7～8羽来て、餌をあげると待っていましたとばかりの速さで食らいつきます。時たま、母親が子供に口移しで餌をあげている何とも微笑ましい様子を目にすることもあります。



<みんなねっと情報>



1月6日から新しい事務所で業務を開始しています。(新しい連絡先は、下記のとおりです)

〒167-0054 杉並区松庵 3-13-12 電話:03-5941-6345/FAX:03-5941-6347

電話相談:03-5941-6346(水曜 10時～15時)



日本学校メンタルヘルス学会第24回大会

学校のメンタルヘルスリテラシー教育を考える～今、“こころの病”の予防としてできること～
2021年2月13、14日(土、日)オンライン開催

大会長講演:「学校メンタルヘルスリテラシー教育の実践と効果」講師:篁宗一(静岡県立大学)

シンポジウムⅠ:「学校の中のメンタルヘルス教育の位置づけと実践例」

シンポジスト:小塩靖崇(国立精神・神経医療研究センター)

シンポジスト:上松太郎(横浜市立大学附属市民総合医療センター看護師)

シンポジスト:北野陽子、細尾ちあき(NPO法人ふるすあるは)

シンポジスト:久下明美(NPO法人こころ・あんしん Light)

詳細は、右記サイトをご覧ください。 <https://psilocybe.co.jp/2021/jasmh/a/>